

おいしい米づくり情報

高温対策緊急号

庄内総合支庁 農業技術普及課
Tel. 0235-64-2103

出穂が始まっています！！ 田んぼに水は入っていますか？

作況圃場では、出穂が平年より2日程度早まっています。

すでに出穂期を迎えている圃場では、これからが水分をもっとも多く必要とする時期です。早急に圃場の巡回を行い、出穂や水田の状況を確認しましょう。

今後も気温の高い日が続くとみられており、高温障害が懸念されます。また、水管理に必要な用水を確保するため、地域内で話し合いを行い、適切な節水対策を講じながら、きめ細やかな水管理を徹底しましょう。

○今後5日間の天気予報(あぐりんウェザー)

7月30日5時 酒田市の天気予報

日付	30 火	31 水	1 木	2 金	3 土
天気					
降水確率(%)	-/30/30/0	0	10	10	20
最高(°C)	33(+0)	-	36	37	36
最低(°C)	-	-	24	24	23
風の状態			-	-	-
波の状態	1m のち 1.5m	1.5m	-	-	-

○水管理のポイント

- 出穂までは、間断かん水を行い、根の活力を維持します。
- 出穂期から穂揃期(約1週間)は水稻にとって、もっとも水を必要とする時期です。出穂が始まったら、2~5cmの水深を保つようにしましょう。
- 穂揃期後は間断かん水に切り替えますが、フェーン現象による異常高温、台風が予想される場合は湛水して稲体を保護します。
- 水管理の徹底で、白未熟粒や胴割れ米の発生を防止しましょう。

○斑点米カメムシ類対策

本年の斑点米カメムシ類の発生はやや多い予報となっています。気温が高いと斑点米カメムシ類の活動は活発になることから、防除を徹底しましょう。

農作業中の熱中症に注意！！水分補給等の対策を

